



全国的にはまだ寒い日があろうかと思いますが、東京では桜のつぼみが膨らみ始め、春を実感しています。そろそろ、各地の清酒の鑑評会や品評会が開催され、今年の造りの状況も情報交換されている頃ではないでしょうか。

さて、総務省では、毎月家計調査を実施しています。この目的は、国民生活における家計収支の実態を把握し、国の経済政策・社会政策の立案のための基礎資料を提供することですが、この中に酒類や醤油、味噌等の支出金額があります。データは、全国の1世帯当たりの月当たりの支出金額（総世帯）の経年変化です。また、総務省の総人口の推移も乗せました。

家計調査（総務省統計局）による1世帯当たりの品目別支出金額 円/月

	平成19	20	21	22	23	24	25	26	26/19(%)
清酒	6,407	6,051	5,813	5,700	5,508	5,234	5,429	5,567	86.9
焼酎	6,204	6,441	6,212	6,439	6,065	5,708	5,860	5,867	94.6
ビール	15,407	14,725	13,142	12,626	11,553	10,886	10,419	10,463	67.9
ウイスキー	1,085	1,020	1,119	1,153	1,023	1,326	1,242	1,255	115.7
ワイン	2,308	2,075	2,226	2,267	2,413	2,588	2,866	2,948	127.8
発泡酒等	4,884	5,278	5,106	7,361	7,477	7,758	7,770	7,994	163.7
他の酒	3,065	3,750	4,337	2,500	2,538	2,467	2,500	2,751	89.8
しょう油	1,833	1,848	1,881	1,731	1,739	1,632	1,595	1,607	87.7
みそ	2,153	2,234	2,145	2,048	1,992	1,851	1,865	1,841	85.5
酢	1,217	1,162	1,111	1,072	1,044	973	992	942	77.4
合計	44,561	44,584	43,092	42,897	41,352	39,451	40,538	41,235	92.5

人口推計（総務省統計局）による総人口の推移（単位：千人）

	平成19	20	21	22	23	24	25	26	26/19(%)
総人口	128,033	128,084	128,032	128,057*	127,799	127,515	127,298	127,083	99.3

※国勢調査人口

これを見ると、平成19年と26年の比較では、ウイスキー、ワイン、発泡酒等が増えているのがわかります。清酒等は支出が減っています。ビールの減少は、発泡酒等へ購入が移ったためと思われます。しょう油、みそ、酢も減っています。この間の人口は0.7%、95万人の減少ですが、それよりも支出額の減少は多くなっています。ただし、合計欄を見ると、平成24年が最小で25年、26年と合計額は増えていますので、統計で見る限り少し消費が上向いてきていたと考えられます。

ただ、支出額を比較するには、物価変動も考慮する必要があると指摘もあろうかと思いますが、そこで、この間の消費者物価指数を見てみました。平成22年を100としたデータですので、わかりにくいのですが、ここ十年位の間は10%を超える変動はなく、ほぼ安定と言ってもよい状況下と思います。

消費者物価指数（平成22年基準・全国）（総務省統計局）

	平成19	20	21	22	23	24	25	26
清酒	105.2	103.9	102.5	100	97.9	96.3	94.7	98.4
焼酎	95.4	99.3	101.1	100	99.5	97.9	97.2	98.8
ビール	100.9	102.6	101.6	100	99.2	98.4	97.7	99
ウイスキー	102.1	101.5	99.5	100	101.4	98.3	96.7	97.9
ワイン	104.5	103.6	104.5	100	99.3	98.2	97.9	104.5
発泡酒	99.8	102.1	101.4	100	99	98.2	97.7	99
しょう油	93.9	100.6	102.2	100	97.8	96.6	95.8	97.3
みそ	94.3	100.3	102	100	99.5	98.3	96.3	97.2
酢	92.9	95.9	102.4	100	99.2	98.5	96	97.8

平成19年に比べ平成26年は、ウイスキー、ワイン、発泡酒を除き、消費者物価指数を考慮しても家計における支出が若干減っているように思われます。

最近の原油安に伴いガソリン価格が下がり、運送業などの関連業界はよいようですが、円高、株安による景気の先行きが心配されています。3月末からは、桜前線が北上します。適正飲酒で、今年も花見酒を楽しみたいですね。